2026年10月26日

各 位

会 社 名　株 式 会 社 ト ワ ラ イ ズ
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　古 山　英 明
（コード：267A TOKYO PRO Market）
問合せ先　専務取締役経営統括部長 髙田 裕文
（TEL 0859-35-1714）

TOKYO PRO Marketへの上場目的の開示について

当社は、2024年10月23日付でTOKYO PRO Marketへ上場いたしましたが、その上場目的及びその実現状況の評価等について、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．TOKYO PRO Marketへの上場目的

当社は鳥取県米子市で創業し、中国地方を中心に事業基盤を固めた後、関西から九州まで西日本全域を営業エリアとしておりましたが、2017年の東京支店を皮切りに東日本へもエリアを拡大しております。今後、全国ネット企業としてさらなる事業成長を加速させるため、TOKYO PRO Marketへ上場いたしました。

（１）信頼性の向上

上場企業としての信用力を活用し、顧客、取引先、金融機関等のステークホルダーからの信頼を高め、関係性の維持・深耕に結びつけてまいります。

（２）優秀な人材の確保

上場企業としての信用力及び認知度を活用し、全国から優秀な人材を確保するとともに、高度な知識・経験を有する経営人材及び専門人材の採用強化、人材の定着促進に取り組んでまいります。

（３）ガバナンス体制の強化

社内規程の整備等、統制面の強化と社員教育を通じたコンプライアンス意識の醸成など内部管理体制の一層の充実を図り、経営の透明性及び健全性を高めるとともに、上場会社として求められるコーポレート・ガバナンス体制の構築・強化に取り組んでまいります。

２．上場目的の実現状況の評価

TOKYO PRO Marketへの上場後、適時開示に対応した決算早期化並びに業績見込の公表等を通し、予算管理の仕組みが社内に定着するとともに、経営管理体制の強化につながりました。

また、連結決算体制の整備等を通じて、グループ各社間の情報共有及び経営管理の連携が強化されました。これらの取組みに加え、各種施策の効果も重なった結果、業績については増収・増益を実現することが出来ました。

採用活動においては、上場企業としての信用力を訴求しやすくなったことに加え、上場を契機とし

た当社の認知度向上も寄与し、優秀な人材の確保に向けて一定の効果が現れております。

以上のことから、現時点においてTOKYO PRO Marketへの上場を通じた当初の目的について、一定の進展及び効果が得られているものと評価しております。

３．今後の取組み

当社は、今後も適切な情報開示及びコーポレート・ガバナンス体制の維持・強化に取り組むことで、すべてのステークホルダーから信頼される企業であり続けるとともに、中長期的な企業価値の持続的な向上に取り組んでまいります。

その成果として、企業業績を着実に積み上げた上で、次のステップとして東京証券取引所スタンダード市場への上場を目指してまいります。具体的な上場時期につきましては、今後の業績動向、内部管理体制の整備状況、その他諸般の状況を踏まえ、総合的に判断してまいります。

なお、本資料に記載された内容は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の今後の事業展開や上場に関する事項について、何らかの確約を行うものではありません。

以 上